



日本聖公会東日本教区 聖アンデレ教会

管理主教 フランシス 長谷川清純 牧師 司祭 ステパノ 卓志雄
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18
電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org HP:www.st-andrew-tokyo.com

三位一体主日・聖霊降臨後第 1 主日(白) 2026 年 5 月 31 日

礼拝案内

† 午前 7 時 30 分 聖餐式・洗礼式
(午前 7 時 25 分 礼拝奉仕者の祈りの集い)
司式・説教：司祭 卓志雄
聖歌 15 323 200

奉献
感謝聖別 (I) 16 頁 (172 頁)
陪餐 24 頁 (180 頁)
アンセム “Holy, holy, holy, Lord God Almighty”
聖アンデレ教会聖歌隊

† 午前 10 時 30 分 聖餐式
こども礼拝と合同
(午前 10 時 10 分 礼拝奉仕者祈りの集い)
司式：司祭 卓志雄

陪餐聖歌 483
感謝 28 頁 (182 頁)
祝福 28 頁 (183 頁)
派遣
退堂聖歌 200

入堂聖歌 15
参入 1 頁 (162 頁)
清めの祈り 1 頁 (162 頁)
キリエ 3 頁 (163 頁)
大栄光の歌 4 頁 (164 頁)
特祷

† 午後 5 時 夕の礼拝
司式：信徒奉事者 聖歌 429
詩 111, 112, 113 シラ 43:1-12 黙 19:4-16

み言葉

第一朗読 創世記 1 章 1 節-2 章 4a 節
詩編 第 8 編
第二朗読 コリントの信徒への手紙 二
13 章 11-13 節

福音書前聖歌 335
福音書 マタイによる福音書 28 章 16-20 節
説教：司祭 卓志雄
ニケヤ信経 9 頁 (166 頁)
代祷 (週報 2 面) 12 頁 (168 頁)
懺悔 13 頁 (170 頁)

聖餐

平和の挨拶 15 頁 (171 頁)
奉献聖歌 323

1 分典礼 (礼拝 Q&A) ㊸

【礼拝における聖歌伴奏における楽器について】
聖歌伴奏に用いる楽器について、「絶対に使用してはならない楽器」が定められているわけではありませんが、教会は典礼にふさわしい雰囲気を保ち、祈りを助け、共同体の歌を支えることを大切な原則としています。そのため、パイプオルガンやピアノ、弦楽器などが伝統的に用いられてきました。一方で、ドラムなどの強い打楽器やエレキギターなどは、演奏が前面に出て祈りの雰囲気を損なったり、信徒の歌を覆ったりする可能性があるため、慎重な配慮が求められます。

また、聖アンデレ教会の「昼の祈り」においても支えられている「コンテンポラリー音楽による賛美」は、特に若い世代にとって大きな恵みと可能性をもたらしています。しかし、音楽そのものが目的となるのではなく、共同体が共に祈り、神を賛美するためのものであることが大切です。重要なのは形式ではなく、その音楽が祈りを深め、共同体を一つへと導いているかという点にあります。伝統と新しさの双方を大切にしながら、共に神をたたえる歩みが求められています。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

※ () 内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会

(ステパノ 卓志雄司祭、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東日本教区 (管理主教 フランシス 長谷川清純 主教)]

小笠原聖ジョージ教会、

教区事務所、

総会代議員

[東日本宣教協働区 (北海道・東北・東日本教区)]

[日本聖公会 (首座主教 ダビデ 上原榮正 主教)]

京都教区のすべてのはたらき

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

ナブルス キリスト教幼稚園

[全世界の聖公会]

ルワンダ聖公会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

ウェスレー財団

アジア学院

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの管理主教

フランシス

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせ

てください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに、

ウクライナや中東、またイランに対するアメリカと

イスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある地

域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互

いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求

めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と

隣り人、ことに、

本日、洗礼の恵みに与かった方、日々を共に暮ら

し、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同

僚、心にかけている人びと、聖アンデレ教会に連

なるすべての人びと、ボーイスカウト東京港第14

団、ガールスカウト東京都第138団、入信を希望

している人びと、洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備

をしている人びと、さまざまな理由によって教会

から離れている人びと、この地域で生活し、働い

ている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びと

を支える働きに関わる人びと、

5月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、こ

とに、教区子どもたちの活動(東京教区SSネット

ワーク)、教区中高生世代活動(教区中高生世代キ

ャンプ準備会)、アジアエキュメニカル週間(日本

キリスト教協議会(NCC)、カルト問題キリスト

教連絡会(カルト問題キリスト教連絡会(日本基督

教団内)、マイノリティー宣教センター(マイノ

リティー宣教センター)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに

愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧し

い人、その他災いの中にある人びと、ことに感染症

の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界各地の震災の被災者

世界各地の自然災害の被害のため困難な状況に

ある人びと、

<お知らせ>

- ◇ 本日、7時半の礼拝中、洗礼式が行われます。
—10時半の礼拝は、普段こども礼拝に出席されている子どもたちと保護者の皆さまとともに、こども礼拝と合同で聖餐式をおささげいたします。9時15分からの礼拝はありません。
—7時30分の聖餐式後、聖アンデレホールにて、お茶とお菓子を囲みながら交わりを深めるひとときを予定しております。
お昼の愛餐会はありません。
- ◇ 5月23日(土)、東日本教区第一(定期)教区会が、聖アンデレ主教座聖堂・聖アンデレホールを会場に行われ、主教選挙の結果、高橋宏幸主教が当選されました。今後、当選者の受諾、および、日本聖公会主教会の同意がありますと、正式に主教被選者となられます。
- ◇ 『さかえ390号』が発行されました。創立記念礼拝、ジャズコンサートのお知らせとともに発送いたしました。どうぞご覧ください。
- ◇ 6月13日(土)朝9時から、教会敷地の草薙を行います。お時間の許す方は、ご参加・ご協力をお願いいたします。
- ◇ 4月まで実施しておりました「礼拝奉仕に関するアンケート②」および「奉仕団体に関するアンケート③」にご協力いただき、改めて感謝申し上げます。皆さまからのお答えをもとに、「お花の飾り(大祝日などの祭壇・礼拝堂)」を担当する新しい奉仕グループも誕生いたしました。また、礼拝や奉仕団体への参加を希望された方々には、ご連絡を差し上げております。皆さまのお働きとご協力に心より感謝いたします。

住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、

戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと

を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、それぞれが
覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人

を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国
の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によってお願いいたします アーメン

☆【聖書を学ぶ会】毎月第1水曜日 13:30~開催
しています。次回は6月3日(水)です。現在、土
井かおる著『よくわかるキリスト教』(PHP研究
所、2004年)をテキストとして用い、聖書、キリ
スト教の歴史、教理、ならびに現代における課題
について学びを深めています。多くの方の参加を
歓迎しこの学びの 때가、より豊かなものとされる
ことを願っています。

☆ チャリティーコンサート

第23回 教会にJAZZが来た!

7月11日(土)17時~聖アンデレ教会聖堂にて
開催されます。お誘いあわせの上、ぜひご来場くだ
さい。チケット販売中です!!

☆ 聖アンデレ教会オリジナルTシャツが出来上
がりました。1枚¥2,500でお分けしています。
サンプルをご覧ください。

☆ 聖アンデレ教会広報のYouTubeチャンネル「今、
福音に聴く」では、卓志雄司祭によるマタイ福音
書の最終回を配信しています。次回、ヨハネ福音
書まで、どうぞ今しばらくお待ちください。

ご視聴は

[tps://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0](https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0)

又は右のQRコードからお願いいたします。

「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を 分担しませんか

み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴
らしい恵みです。受洗や堅信の記念日、誕生日、結婚
記念日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是
非ご奉仕ください。ご希望の方は、聖堂受付付近の
表にお名前をご記入ください。



広報チャンネル



Instagram



ホームページ



Facebook

聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配
信中です。また、フェイスブックページから教会の様
子やお知らせをお伝えしています。上のQRコード
からご覧ください。

本日・今週の予定

5月31日(日)三位一体主日・聖霊降臨後第1主日(A年)
7時半 聖餐式・洗礼式 卓志雄司祭
10時半 聖餐式(こども礼拝と合同) 卓志雄司祭
17時 夕の礼拝

- ・7時半礼拝後 お茶とお菓子で交わりのひととき
(聖アンデレホール)
- ・10時半礼拝後 オーガニストミーティング
- ・14時 聖歌隊練習
- ・15時 城南G教会協議会・教役者歓迎会
(於:聖パウロ教会)

6月1日(月) 7時半礼拝 卓志雄司祭
IIペト 1:2-7 詩 91:1-2,14-16 マコ 12:1-12

- ・10時半 洗礼の学び

2日(火) 7時半礼拝 卓志雄司祭
IIペト 3:11-15a,17-18 詩 90:1-4, 10, 14, 16
マコ 12:13-17

3日(水) IIテモ 1:1-3, 6-12 詩 123 マコ 12:18-27

- ・10時半 聖アンデレ教会6月逝去者記念聖餐式
聖歌 479, 249, 535
- ・13時半 聖書を学ぶ会

4日(木) 7時半礼拝 高橋宏幸主教
IIテモ 2:8-15 詩 25:5-13 マコ 12:28-34

- ・13時 一の会

5日(金) 7時半礼拝 卓志雄司祭
IIテモ 2:8-15 詩 25:5-13 マコ 12:28-34

6日(土) 7時半礼拝 卓志雄司祭
IIテモ 4:1-8 詩 71:7-16 マコ 12:38-44

- ・13時 難民・移民フェス

7日(日) 聖霊降臨後第2主日(特定5)
7時半 聖餐式 高橋宏幸主教
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式(教会創立147周年記念)・堅信式
高橋宏幸主教

ホセ 5:15-6:6 詩 50:7-15 ロマ 4:13-25
マタ 9:9-13, 18-26 聖歌 454, 437, 279, 506, 247, 491
17時 夕の礼拝 聖歌 31
詩 8,84 申 29:15-28 使 10:9-23

- ・礼拝後 記念撮影
- ・愛餐会 - 聖堂聖別30年 感謝の分かち合い
- ・14時 聖歌隊練習 ・14時 BSSAC

今週のメッセージ

今日は三位一体主日です。春を迎えると、教会では復活日、昇天日、聖霊降臨日と続き、その後に三位一体主日を迎えます。イエス・キリストの復活、昇天、そして聖霊降臨を記念した後、今日は三位一体なる神をほめたたえる礼拝をささげます。

「三つの名前では知られている方は一つの神である」という事実を表す言葉が「三位一体」です。この「三位一体」という言葉は、キリスト教信仰において大切な意味を持っています。「三位一体」という言葉そのものは聖書には記されていませんが、「三位一体」という言葉は3世紀頃から用いられるようになり、4世紀になって公会議を通して教会の教理として確立されました。

わたしたちは母語を身につける時、最初から文法や理論によって言葉を習得するわけではありません。両親や周囲の人々の言葉を聞き、自ら話し始める体験を繰り返す中で、言葉を覚えていきます。

三位一体の神についても同じことが言えるでしょう。最初から理論や神学があったわけではありません。弟子たちや初代教会共同体には、まず三位一体なる神との体験がありました。そして、その体験が教会の歴史を通して整理され、理論として形づくられ、教理となっていったのです。

目には見えず遠い存在でありながら、この世界を創造された「父なる神」。目に見える姿となって人間と同じ姿でこの世に来られ、ご自身を献げることによってわたしたちを救ってくださった「子なる神」。そして神の息として初めから存在し、子なる神の昇天の後にこの世へ遣わされ、今も働き続けながら、わたしたちに力を与え、傍らに立って励ましてくださる助け主である「聖霊なる神」。

弟子たちと初代教会は、この三位一体なる神の祝福を体験し、次のように告白しました。

「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にありますように。」
(コリントの信徒への手紙二 13章 13節)

わたしたちは、神から与えられる恵み、愛、交わりを人間の言葉で説明し、定義することはできるかもしれませんが、しかし、そのすべてを完全に理解することはできないでしょう。なぜなら、神から与えられる賜物は理屈ではないからです。

その賜物は、神によって出会いへと導かれた人々と分かち合われ、豊かな体験として心に刻まれていくものです。そして、主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりを、より多くの人々と分かち合っていくことこそ、三位一体なる神と共に歩むことなのです。 (司祭 卓志雄)